

POLE

北海道ポーランド文化協会会誌「ポーレ」
第12号 1990. 9. 29

発行
北海道ポーランド文化協会
〒060 札幌市中央区北2西2
道特会館 NDA画廊内
電話 011-221-8672

創立三周年記念コンサート

総会を引き続いて

本協会は本年十月で創立三周年を迎えることになりました。三回目の年次総会が、来る十月二十八日(日)午後五時三〇分より札幌市の教育文化会館(中央区北一条西一三丁目)の特別会議室で行われます。

総会に先だって午後五時頃から来年度に開催予定のポーランド週間について懇談会を行います。(くわしくは次ページのホスピタリティ・ラスト助成金の記事参照)。この懇談会では、軽食と飲物が出されます。

くつろいだ雰囲気

そのあと総会に入り、一九八九年(昨年十月から本年九月までの年度)の事業・決算報告のあと来年度の事業計画と予算案が提案、審議されることとなります。

懇談会、総会ともなるべく形式にとらわれない自由な雰囲気で行うつもりですので、これまで参加の経験が無い方も気軽にお出かけください。

総会終了後、本協会の創立三周年を記念して同じ教育文化会館内の小ホールでコンサートの行われます。出演者はすべて本協会、および日本ショパン協会道支部の会員です。また、この催しものは日本ショパン協会道支部と北海道新聞社が後援しています。

(ピアノ)

伊藤裕佳子

ノクターン op. 62-1, 2 ショパン

片寄ますみ

バラード op. 49 ショパン

渡辺 卓

ワルツ op. 69-1 ショパン

ノクターン「遺作」 ショパン

谷本 聡子・横路 朋子

二つのピアノのためのロンド

ショパン

(ヴォーカル)

多米 実

樹木の陰で(ラルゴ) ヘンデル

ピアノ 大門 敬明

(ギター)

赤坂 孝吉

ギターのためのポーランド風組曲

タンスマン

(ピアノ)

連弾 高橋真智子・水谷 澄子

ポーランド風民族舞曲集(マズル

カ、ポロネーズ、クラコヴィアック)

op. 55 モシユコフスキー

水田 香

ファンタジー op. 14 G-Dur

シマノフスキー

◆総会

日時 一九九〇年十月二十八日

(日曜日)午後五時三十分より。ただし、懇親

会は午後五時より。

場所は 札幌市教育文化会館

中央区北一西一三

特別会議室

参加費 無料

◆コンサート

日時 同日午後七時より

場所 同小ホール

入場料 二千円

(入場券は当日会場受付で販

売いたします)

※総会およびコンサートへの参

加の有無を同封の葉書で十月二

十日までにお知らせください。

「ポーランド週間」に助成金

去る八月三日、公益信託「国際交流ホスピタリティートラスト」より、本協会に対し助成金の給付が決定したという知らせがありましたのでご紹介します。

この公益信託は、日本に滞在中の外国人市民や青少年との交流活動をはじめとする、民間のさまざまな友好親善活動を助成するため、昭和六二年三月外務省の許可を受けて発足したもので、住友信託銀行東京営業部に事務局を持っています。

本協会では、次のような事業を行いたいとして助成金の申請を行いました。

①親善交流のためのポーランド週間の開催―絵画、写真、民芸品などの展示会、ポーランドに係わりの深い人、またはポーランド人による講演会、音楽会、映画会、ポーランド人を交えた親善パーティーなど

②ポーランド語講習会の開催

③会誌「ポーレ」の記念号の刊行
この申請に対して、とくに①のポーランド週間の開催の補助として、四十万円の助成金が認められました。

この決定を受けて、九月二六日には本協会の運営委員会が開催され、ポーランド週間の時期と内容に関する話し合いが行われ、ほぼ次のような内容でこの企画に取り組むことになりました。

①来年6月頃にポーランド週間を開催する。

②ポーランド週間の間に、展示会、映画会、音楽会、講習会、記念パーティーなどを行う。

③十月二八日の総会の前の懇談会で、一般会員を中心にポーランド週間での催しものについて意見交換を行う。

④この話しあいをもとに、十一月十日前後に、絵画(写真)、映画、音楽などそれぞれの分野で実行委員会をつくり、具体的な企画、立案を行う。

十月二八日の総会は午後五時三十分より開催される予定ですが、五時前後から右の③のような主旨で懇談会を開きます。多くの会員の方々の参加をお待ちしております。

ハリーナさんを囲む

「楽しいポーランド語」

●第五期ポーランド語講習会を開きます。水準は前期に引き続き初級の中程度といたします。

【期間】一九九〇年十月二日(火)～十二月十一日(火)

(毎週火曜日、十週間)

【時間】午後六時三十分から午後八時三十分までの二時間

【会場】北海道クリスチャンセンター

(住所)札幌市北区北七条西六丁目

(電話)七三六一三三八

【講師】熊倉ハリーナ先生

【内容】初級の中程度の会話と文法

【授業料】一万円(十回分)

【申込先】北海道ポーランド文化協会事務局

(住所)札幌市中央区北二条西二丁目

(電話)二二一一八六七二

※参加登録は第一回目の講習会の当日まで受付ます。

詳しくは灰谷(七〇二―四九三九)までお問い合わせください。

守り続けられた日本美術

ポーランドの南に位置し、かつての王宮ヴァヴェル城を中心に芸術と文化に彩られた一千年の歴史を誇る首都クラクフ。そのクラクフ国立美術館の一角で『遠い日の日本』と出会うとは誰が予想し得たでしょうか。

知らないところで

日本は有名でした

【期 間】 一九九〇年十一月十四日(水)～十二月二日(日)

【会 場】 西武五番館赤れんがホール
(住所) 札幌市北区北四条西三丁目

【主 催】 ポーランドの〈NIPPON〉展開催実行委員会
【後 援】 外務省
文化庁

ポーランド共和国大使館
日本ポーランド協会
北海道ポーランド文化協会

【特別協力】 クラクフ国立美術館

■ポーランドの南に位置し、かつての王宮ヴァヴェル城を中心に芸術と文化に彩られた一千年の歴史を誇る首都クラクフ。そのクラクフ国立美術館の一角で『遠い日の日本』と出会うとは誰が予想し得たでしょうか。

■ポーランドの資産家に生まれ、ベルリン、パリ、ロンドンなどで遊学生活を送っていたフェリス・ヤシェンスキ(一八六一—一九二九)。のちにヨーロッパでも有数の浮世絵コレクターとなる彼が、パリで運命的とも言える日本美術に出会ったのは一八八〇年半ばと思われる。それ以降、パリを拠点に日本美術品約一万点あまりを収集し、帰国後「日本美術展」と題し、ワルシャワとクラクフで紹介したのが一九九〇年初頭。当時の文化の中心地クラクフでは熱狂的に受け入れられ、ことに若い芸術家たちに大いなる感動と影響を与え、後のポーランド・モダニズム運動の重要な要素となりました。

■その後コレクションはクラクフ国立美術館に寄贈され、今回美術館の特別協力により、およそ百年ぶりに里帰り致します。本展では、①ヤシェンスキの生涯と古都クラクフ、②秘蔵コレクション、③ポーランド・ジャポニズムの三部構成でヤシャンスキという一人のポーランド人の心を生涯魅了して離さなかった〈NIPPON〉の謎を解き明かします。

■また膨大なコレクションの中から北斎、広重、春信らの浮世絵約百六十点、造形的に貴重な技術を見せる印籠、根付、漆器類約百点、そしてポーランドジャポニズムとも言うべき浮世絵の技法を色濃く感じさせるポーランド絵画約五十点あまりを、特に選りすぐり一堂に展覧いたします。

新入会員のご紹介

1990.1.16から9.27までの間に参加された方

氏名	連絡先	電話番号	勤務先	勤務先電話番号
田内 俊一			北海道教育大学岩見沢 分校(政治学)	
森内 明子			ピアノ教師(ショパン 協会道支部帯広委員長)	
高橋 妙子			カワイ音楽教室音楽教 室(帯広)講師	
今 法子			札幌大谷高等学校美術 コース	

- ポーランド文化を語る総合雑誌が刊行されました。
今後、年1回発行の予定とのことです。
- 北海道ポーランド文化協会事務局(北2条西2丁目、
道特会館内、NDA画廊内)で取り扱っています。

■ポーランド文化の現在・過去・未来

ポロニカ'90

A5判/定価1,800円(税込)

創刊号

◎好評発売中!

ポロニカ(POLONICA)とは?
ポーランド語で書かれた、
あるいは、ポーランドに関する
文献、印刷物、手稿等を総称する、
中世ラテン語。

本書『ポロニカ』は、魅力あふれる
ポーランド文化を、さまざまな
視点からとらえる雑誌です。

☆目次一頁☆
ポーランド現代詩同僚
へのレトロテイク
私の出会った
ポーランド児童文学
『ポーランド映画が
歌目になろう』
ポーランドのピアニストなら
ゴッローヴィッチ日記抄
へのレポーランド説出
スキヌスワフ・レムに聞く
好きな作家 嫌いな作家
童貞聖マリアと生神女
文芸大誌『ヒメラ』の周辺
世紀末のワルシャワとクラクフ
そして浮世絵
ポーランドのバシリスタ伝説
ポーランドの建国伝承考
ポーランド文学と加藤朝鳥
小説とドクター
世界のポーランド図書館
クロニカ89
◎巻末に鑑札名

「ポーレ」編集員募集

協会誌「ポーレ」の企画、編集に興味をお持ちの方を探してい
ます。年4回発行の本誌の記事の立案、執筆、交渉などを担当し
ていただきます。ただし、無報酬です。くわしくは小笠原(北大
工学部、電話716-2111、内線6748)までお問い合わせください。

POLE 第 12 号(1990.9.29) 目次

第 3[4]回総会・創立 3 周年コンサート(1990.10.28)のお知らせ	1
「ポーランド週間」に助成金、第 5 期「ハリーナさんを囲む楽しいポーランド語」講習会(1990.10.2～12.11)のお知らせ	2
〈後援〉「守り続けられた日本美術～ポーランドの〈NIPPON〉展～クラクフ国立美術館所蔵ヤシェンスキ・コレクションを中心として」(1990.11.24～12.2)のお知らせ	3
新入会員のご紹介、「ポロニカ」創刊号の紹介	4